

グループ A

外国人の声

- ・自治会に入会するとポイントがたまる。
- ・八街アプリをつくり皆でためて買い物に使える。

ヤング世代

- ・私の家の前の道路は2車線と広いので、かなりスピードを出して走る車が目立つ。八中で通学する生徒の安全に？がとまる。
- ・こども100当番があるが…
- ・不審者が多い（マチコミの情報）
- ・車の交通量が増えた。（特に八街駅と榎戸駅間）
- ・北小児童が少ない。私の家の前は通学路なので、見守りかねて見ているけれど、やはり淋しい。
- ・地区のイベント等担い手がいらない。
- ・お金が無いと思うが、信号が少なすぎる。
- ・子どもの遊び場（安心安全に遊べない）
- ・スケートボードのできる場所は？（公園？）中央公園は昼間

etc

- ・買物、病院の移動手段のない方が増えた。
- ・スーパーやコンビニが地域に比べて絵多いのはグッド
- ・区加入者が加入率37%、区外の人は各寄付金や行事への参加がとぼしい
- ・外国籍の方が多くなった。
- ・道の駅
- ・八街市内、在住者の特技、才能、有識者の把握度

関係性の貧困

- ・要支援者への支援者リスト？
- ・地域で行っている活動（今回の懇談会のようなもの）を学生が知ることが少なく、参加者が少ない。
⇒チラシを作るなども、もっと宣伝してみるのはいかが？（学生で興味がある人が参加することが話し合いの活性化ができる）。
- ・高齢者が多くなった。自分も高齢者なんだけど。
- ・話し合いの場がなくなった。
- ・8050, 7040 問題。
- ・近所の挨拶をすることが少なくなった。
- ・独居の高齢者ひとり親（関係性の貧困）

交流の場

- ・地区社協を通じて地域貢献しているが、次の世代がもっと参加して欲しいなと思う。
- ・相談する場がなくて困る。
- ・区制の限界。高齢者社会の参画者の不足
- ・異年齢交流の場がなくなった。
- ・警察署は無い？（防犯）
- ・ポイ捨てが多い⇒畑や公園、道路など。⇒地域で清掃活動を行うのはどうか？（学生も参加させていただいて、地域の交流を増やすことができる）。

グループ B

IT リテラシーの向上

- ・ IT リテラシーの向上
- ネット犯罪も増えている。
- 教育環境が弱い

モラル

- ・ モラルがない
- ・ (住宅) 移動販売、バイク (改造) の騒音

アピール

- ・ 八街市のアピールの仕方

道路

- ・ 子どもたちの通学路、自転車の乗り方。街頭が少ない。
- ・ 子どもの自転車の乗り方、近所の子供で道路右左に別々に走っているのをよく見かける。
- ・ 道路が整備されていなくて怖い (自転車) → 草が生えたまま。
- ・ 外灯をもっと付けてほしい。道路がせまいので。
- ・ 道がせまい所でけっこうなスピードを出している車が少しいる。
- ・ 夜暗い住宅がいがある。
- ・ じゅうたいしている箇所がいくつかある。

市民どうしのアクセス (高齢者・子ども)

- ・ 高齢者の買い物が不便なので福祉タクシーをふやしてほしいです。
- ・ 地域の高齢者への声掛け、対応 (お願い事された時などの買物買出し etc)
- ・ アクセス

地域のつながり

- ・ ネグレクトっぽい? 家庭への対応 (子供同士でのやりとり)
- ・ (地域の) 情報伝達 (個人の特技とか)。
- ・ 人とのつながりがうすい。

産業アイデア

- ・ IT を活用したアピール (Youtube) → 学生が作る (地域の人に教わったり、市の設備の支援したり)
- ・ 廃棄する野菜を加工等をして販売につなげる
- ・ ぼっちくんのプロデュース!!!

C グループ

防犯・防災

- ・不審者の対応、防犯対策
- ・不審者
- ・地震などの災害が発生した時の自分（個人）たちに出来ることは何か。
- ・通学路がせまい
- ・周囲の県や市で発生している強盗事件の対策。
- ・近所に交番があるのに留守のことが多く、困った時にすぐに相談できない。

地域交流

- ・ちょいそこタクシーは線路はさんでの移動がやっかいです。もう少しきめ細かく移動できればと思います。
- ・みどり台地区に銀行のATMがありません。希望としては、セイミヤスーパーあたりに、なじみの銀行のATMを設置してもらいたいです。
- ・自治会加入率が低下している。災害をテーマに高齢者～小学生まで参加して頂き、小さな時から地域に感心を持っていただけるような組織作りをしたい。
- ・消防団員が少ないので、入団率を上げたい。
- ・地域交流。泉台、みどり台、榎戸、真井原。災害時交流。顔知らない人がいると不安。
- ・地域交流の不足。コロナ後高齢者の助け合い。
- ・榎戸駅周辺に中高年や高齢者が楽しめるカフェとかがなくコミュニケーションがとりづらいです。
- ・要望。区、自治会の活動に大人だけで進めています。大学生、高校生、中学生、小学生を含めての語り合い、活動に参加出来るようにしたい。
- ・地域の役員のなり手がいない。
- ・総武本線の本数が、ふやせると便利かなーと思います。

学校

学校・教育

- ・小中学生の長欠率（30日以上の欠席者）
- ・学校における個の支援を要する児童生徒の対応
- ・集金が滞る家庭（学校徴収金）
- ・図書館に自習スペースがないので学校、家以外で勉強出来る場所がない。

外国人との関わり

- ・外国人との交流
- ・外国の方との交流会を区で実施出来たら、要望です。
- ・外国人児童生徒の日本語教育

- ・外国人児童生徒の日本語教育

D グループ

自治会

- ・自治会の加入者が減っている。
- ・町内の方の交流が減ってしまっている。
- ・地域のイベントの参加者が少ない。
- ・役員をやってと言うとやめちゃう。
- ・地域への関心がうすくなっている。
- ・ご近所さん誰が住んでいるかわからない。良いコミュニケーションの取り方は？
- ・自治会役員のなり手がいない。

空家問題

- ・空家が多い
- ・空家、空地の手入れがされてないところが多い。防犯面でも手入れしてほしい。

情報

- ・イベントの情報かわりにくい

外国籍

- ・外国籍の方が多い
- ・外国籍の方が運転している車とぶつかりそうになる。

環境

- ・たき火のケムリが困る。
- ・ゴミ収集場所が汚い。
- ・外灯が少ないので、夜暗い。
- ・歩道がせまい。
- ・榎戸駅に列車の接近放送がなくて電車がいつくるのか分からない。
- ・ゴミステーションが遠い。
- ・野良猫が多くなっている。
- ・お店が多いところと少ないところがある。

子ども

- ・若者と会う機会が少ない。
- ・若い人の地域参加が少ない（消極的）
- ・不登校児の居場所、理解、声かけ。
- ・こどもの居場所。
- ・子供が少ない時代なので何かコミュニケーションとれる場があるとよい。
- ・子ども会の活動が休止中。
- ・公園の遊具が少ない。
- ・学校のトイレがくさい。

流
番
番

高齢者

- ・細い道なのに目の前の道路をスピードを出して走る車がいて危ない。
- ・高齢者などの移動困難者が多い。
- ・地域活動のメンバーの高齢化。
- ・交通ルールを守っていない大人が多くなった。
- ・高齢者の居場所。
- ・8050, 9060 問題。

解決策

- ・自治会問題を解決することが大事。
- ・国際交流のできるイベント問題。
- ・自治会役員に外国籍の方を（外国籍の方が役員になることで、多くの外国籍に自治会を分かってもらえる）。
- ・市民の皆さんが集まるイベント開催する。

E チーム

高齢

移動

- ・ 移動について。
- ・ 動物病院にタクシー（移動タクシー等）が使えない。
- ・ 高齢者率が 50%。
- ・ 自転車は左
- ・ 交通の問題。→乗り合いタクシー？に犬を乗せられない。

・ 夜道が暗いから、自転車等に気が付かなくて危ない

環境

・ 団地内、高齢化、一人暮らしが多い。子どもが少ない、高齢者が多い。

・ 以前は知らない人がいなかったの最近は知らない人が多数いらっしゃる。

・ 少子高齢化、高齢者の一人暮らし、空き家

・ 榎戸区の役員を行って思った事、感じた事。①自治会を退会する、したい人が多くなった。②行事が減った。夏祭り等コロナの影響？連帯感が少なくなった。③空き家が多くなり防犯の心配が増した。

・ 町内会の加入率の減少。
・ 高齢化→行事などの担い手が少なく、やってもらうと 100 万円以上かかる。だから毎年できない。

参加

F グループ

人材担い手

- ・地域の集まり中学生、高校生が少ない。
⇒夏まつりがあることを知らない人が多い。
- ・地域の人材の育成の場がない。
- ・消防団などの地域の活動に参加する人達が減っており、消防団そのものの存続が危ぶまれている。

情報

- ・色々なイベント、参加者が固定化されている。新しい人の参加を！何があるか良くわからない。
- ・昨年の主な意見の中で何か進展のあったものをしょうかいしてほしい。
- ・若い人達に地域の問題が届いていない。

交流・場所

- ・空家や耕作放棄地が活用できていない。
- ・行事やイベントが少なくなってきている。
- ・地域の協力者が減少している。地域の奉仕活動などのイベントを行う際に、支障が出るようになってきた。
- ・休耕地が多く荒れている所が目立つ。活用方法について。
- ・空家が多い、何とか活用できないか？

外国人

- ・外国籍の方が増えたが交流の機会がない。

区加入

- ・区で自主財源を確保する、何があるか？加入率を上げるには
- ・区や町内会に新たに加入する人が減っている。区の縮小に歯止めがかからない。

近所

- ・昔と違って転入者が挨拶に来ないので、どういう方が居るのか良く分からない。どうしたら知ることができるのか？
- ・隣、近所のおつきあいがいい。
- ・自分の家の周りにどんな人がいて住んでいるのか、わからない部分がある。

居場所

積極的にコミュニケーションをとる

防犯

- ・先日、泉台の団地内で早朝あやしい車が止まっていて、5人が別々の方向から帰って来て、車に乗って出て行った。
- ・夜、散歩している人がいても、あまり気づくことができない。→ライトをもらったり、見まわりをするといい？
- ・住居地の周囲、夜が暗くて危ない。→明かりが少ない。
- ・泉台、榎戸地区の生徒が自転車で、登校、下校時に総武本線と平行した道路で帰っています。本来は左側を走りますが、半分以上の方は歩道を走っています。安全面をとるか、道交法をとるか？
- ・高校生などがコンビニの前で集まっていて入りにくい時がある。
- ・特に、夏の季節になると中学生が泉台の公園に夜遅くまでたむろしている。

子ども・孤立

- ・子育てや高齢者のサロンがない。 ・子どもの居場所が少ない。
- ・学校の空教室の活用。 ・子ども食堂が少ない、増えてほしい。
- ・不登校、ひきこもり、障害。「教育・福祉の充実を求める会」を立ち上げ後、様々な情報がある。①教師と子どものトラブルが起きた時、保護者が話し合いを望んでこじれる場合がある。→学校に相談できる機会がなく保護者が孤立する。トラブルの話し合いにカウンセラーなど、第三者の立ち合いが必要。②「誰でも不登校やひきこもりになる場合がある」ということを市民の認識に③力になりたいと思っている人がいると信じて④障害など、困難を抱えている人程、解決策が見えない場合がある→支援の仕方の研究が必要⑤PTA や親の会の役割→児童・生徒の困り事をどうつかむのか⑥成功体験をみんなのものに

孤立

高齢

- ・認知症の理解が乏しい。
- ・高齢者の買物や通院の手段が無い。
- ・孤立した高齢世帯の状況がつかみにくくなっている。
- ・住民の高齢化により、区や地域の集まりを抜け、家庭個々の孤立化が顕著になっている。

災害

- ・災害時の見守りが不安

見守り

- ・今年になって1人住まいの老人が死亡した人が2人出た。この様なことが少なくなるような見守りが必要。

声をかけ続ける

G グループ

住みやすさ

自治会・コミュニティ

- ・自治会のあり方
- ・近隣住民との顔合わせ機会減少。自治会入会者減少。
- ・町会に新しく来られる方がはいる。美化運動など人の集まりがどんどん減っている。
- ・世代間交流が難しい。
- ・老人の一人暮らし
- ・外国人との共生、ゴミ出し、イベント無い。

交通

- ・歩道、街灯が少なく夜怖い。
- ・自転車通学と車の通勤と時間がかさなり、渋滞が起きる。自転車用の道が使いづらい。地域や市のイベントに中高生など気づきにくい。イオンなど遊べる場所など駅から遠く成田や千葉などに行ってしまう。ふれあいバスの使い方や時間がバツ
- ・通学路の安全、歩道、カーブミラー、街灯
- ・交通不便徒歩で動くには店がない。→車が必要
- ・夜間の通行、通学路の危険。見回り等の参加者がいない。

空家

- ・空き家対策
- ・空家になってくらし草だらけの家が多い。

子ども

- ・子どもの安全。自転車の安全に乗れない、一人で出かけるのが危険、周囲の助け。
- ・学校（近くに小学校がある）のおくりむかえの車がどこでもとめる。スピードが速く、あぶない。
- ・子どもたちの居場所づくり。
- ・子どもの数が減ってきている。

解決方法

- ・交通、駅までの利便性向上。歩道者通行帯、外灯？
- ・区だけでなく学校のイベントと一体化させて交流を図る。
- ・自治会のイベント。参加→内容→加入。若者の趣味取り入れ
- ・八街の何かのイベントの時アンケートを取ってみる。「どんなことをしてほしいか」を。アンケートの内容は考える。
- ・交通。安全教室で生徒への指導。外灯など個人個人の対策でなく、地域での改善。
- ・イベントを多くする。子供達がメイン。
- ・イベントなど駅のポスターなど、対象者が見やすくわかりやすい場所に設置。

Hグループ

つながり、つどう、つづける+やりたいこと、やるべきこと、やれること=艶のある人生
キーワードはあいさつ

交通環境

- ・八街、榎戸駅前元気がない
- ・国道、県道、市道、歩道（通学路）
- ・通学時の自転車の問題
- ・子どもが住みやすい街はみんなが住みやすい街ではないか。環境整備など。
- ・通学路、安全面確保。
- ・車の量が多くて、歩道が狭く柵のないところがある。
- ・電車どんどん減る。

子どもの活やく

- ・部活の地域移行はどうなるのか。地域の方と共に活動できないか。
- ・子どもの参加をきっかけに地域づくりにつながらないか。地域のコミュニティセンターをもっと活用できないか。
- ・子育て世代同士の交流。孤立化が進んでいる。
- ・子ども達が活やくできる機会が地域で少なくなっているのではないか。
- ・ひきこもりの50歳代の人が多く、問題がある。
- ・すべての子ども達にとっても心の居場所作り。発達障害（障害児）、不応、ひきこもり。
- ・子たちのあそぶ場。
- ・高齢者と子供のふれあいの場がない。
- ・不登校の居場所、心の支え。地域でできることはないか。
- ・休日に遊ぶ場所が少ない。
- ・地域の拠点となる場所。

地域づくり

- ・新たな人材の発掘、役員のなり手不足、自治会加入者減少。
- ・各団体の世代交代。
- ・区加入率減少、コミュニティ希薄。
- ・世代交代、役員がいない、町内会の存続が心配。
- ・コミュニティスクール。学校と地域との連携強化。働き改革が邪魔をしている。
- ・交流の場の減少、コロナ禍でなくなったものが、そのままになってしまった。
- ・新たな人材の充実。民生・児童委員の人材がいない。
- ・講習会等の勉強会を実施しているが顔ぶれがいつもいっしょ。
- ・地域との交流が少ないと感じる（自分的に）
- ・世代を超えて意見交換できる場
- ・子育てママの相談にのってあげられる機会が地域でつくれないか。元気な高齢者がサポートする役割ができないか。
- ・情報発信する方法。メール、などをしているが高齢者が多くむずかしい。
- ・つながりにくい。同じような思いの人たちと情報共有がなかなかできないでいる。
- ・情報発信がうまくできない。自分たちの取り組みを広めることができない。
- ・町内会の会員減少と高齢化

井戸端会議
って情報が
いっぱい

高齢者の活やく

- ・高齢者の孤立。
- ・高齢者の生きがいづくり。
- ・高齢者（障害者）移動手段。
- ・元気な高齢者にもっと地域に出て活やくしてほしい。
- ・デマンドタクシーの北地区問題。
- ・ひとり暮らし高齢者、認知症高齢者が住みなれた地域で安心して暮らせる地域にしたい。

多様性への対応

- ・外国人とのつながる場や機会。
- ・あいさつのできない人が多くなってきている。
- ・外国人が増えている。ごみすてのルールなど教えたいけどコミュニケーションをとるためにはどうしたら良いか。あいさつから。

市民と行政

- ・市民のまちづくりへの参画。
- ・一般的なルールを守らない人が多い（ゴミの出し方など）
- ・相談窓口の一本化。市に相談すると課を回される。市の課の縦と横の連携が必要ではないか。
- ・防災の一環として黄色リボン運動をしているが、毎年実施してくれる世帯が減少にある。